

## 令和元年度 連携・協力事業の実施状況について

## 教育課題研究専門部会

## 【プロジェクト名】 教師力・学校力向上に資する実践研究

## 1 プロジェクトの目的・概要

佐賀県教育センターの研究の質の向上を図るとともに、教育センターの研究成果を有効に活用して、佐賀大学教員養成課程における教員志望学生の育成の充実を図ることを目的として、連携・協力事業として「教師力・学校力向上に資する実践研究」に取り組む。本プロジェクトを通して、佐賀県の教師力、学校力の向上に資することとする。取組としては、教育センター研究調査事業で取り組んでいるプロジェクト研究等に対して、佐賀大学文化教育学部教員による専門的な見地からの助言を受けるとともに、教育センター研究成果の佐賀大学教員養成課程の講義等での有効な活用を図る。

## 2 令和元年度の実施実績

(1) 教育センターが令和元年度に取り組んだ研究と連携した佐賀大学教員

| 教育センターの研究    | 研究担当所員                         | 連携する佐賀大学教員         |
|--------------|--------------------------------|--------------------|
| 小学校国語科教育     | 北村, 今泉                         | 教育学部 教授 達富 洋二      |
| 中学校国語科教育     | 岩瀬, 目野                         | 教育学部 教授 達富 洋二      |
| 小学校算数科教育     | 福田, 新                          | 学校教育学研究科 准教授 米田 重和 |
| 中学校数学科教育     | 長野, 三浦                         | 学校教育学研究科 准教授 米田 重和 |
| 小・中・高等学校理科   | 中島, 山口, 田中<br>細國, 瀬戸, 水田<br>妹尾 | 教育学部 教授 岡島 俊哉      |
| 小・中・高等学校教育相談 | 川副, 森永, 辻<br>原田, 高添, 姉川        | 学校教育学研究科 准教授 下田 芳幸 |

(2) 連携の進め方 (図参照)

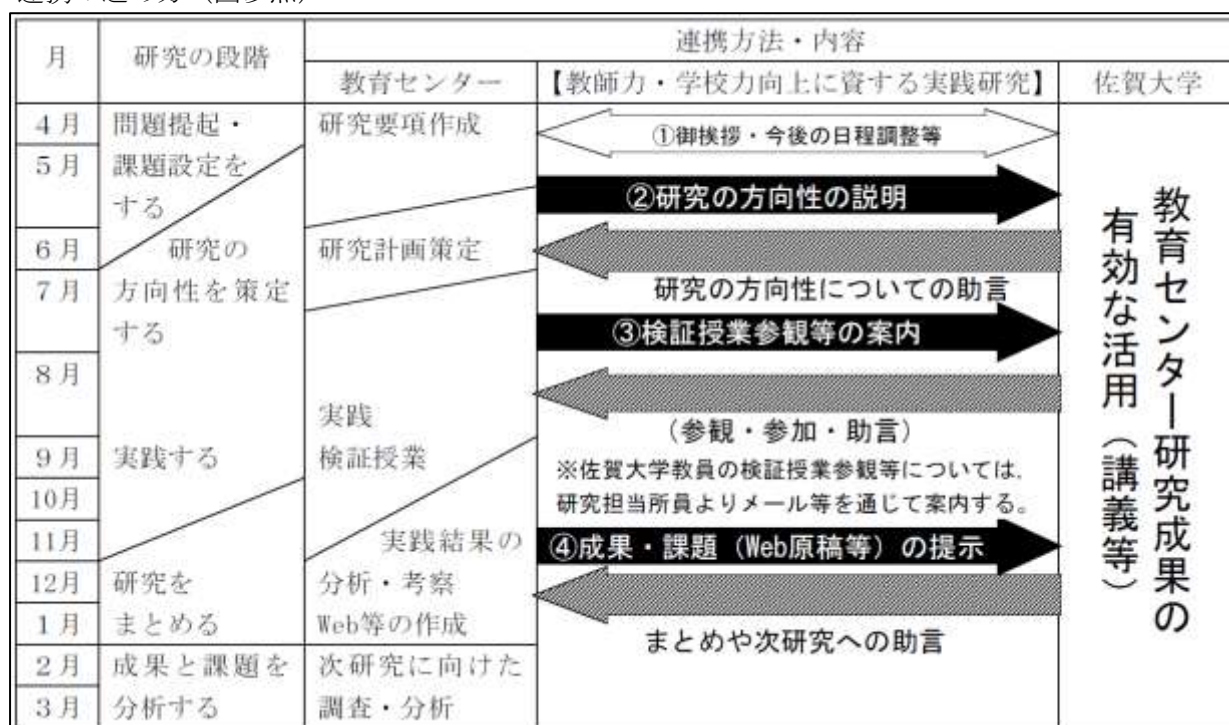


図 教育センターの研究に関する佐賀大学との連携計画

### (実施総数)

- ア メールまたは電話による報告，連絡，相談を行う。(H30:96 件⇒R1: 38 件)
- イ 教育センターが実施する研究委員会に佐賀大学教員が参加する。  
(H30: 3 回⇒R1: 6 回)
- ウ 所員が佐賀大学を訪問し，助言を受ける。(H30: 4 回⇒R1: 9 回)
- エ 連携する佐賀大学教員から資料等の提供を受ける。(H30:10 回⇒R1: 4 回)
- オ 連携する佐賀大学教員が教育センター研修講座の講師を務める。(H30: 9 回⇒R1:13 回)
- カ 教育センター所員が佐賀大学の授業で講話を行う。(H30: 0 回⇒R1: 0 回)

### (成果)

- 研究内容について，佐賀大学教員から理論的，専門的な助言を得たことで研究の方向性が明確になり，中長期的な研究の見通しをもつことができ，研究の質が向上した。佐賀大学教員から助言や資料等の提供を受ける機会が，教育センター研究担当所員及び学校から参加する研究委員にとって，有用な研修の場となっている。
- 教育センターの研究について，国の指針や新学習指導要領の趣旨を踏まえた助言を受けることができた。
- 研究委員会への佐賀大学教員の参加により，作成している資料について適宜助言を受けることができ，学校教員に有用な単元計画やワークシート等のコンテンツの発信を行うことができた。

### (課題)

- プロジェクト研究においては，年3回（9月，10月，12月）のコンテンツ配信を行った。作成から発信までの時間に制約があるために，コンテンツの内容について，発信前に佐賀大学教員から意見等を聞くことができない場合もあったので，次年度については，コンテンツの作成から点検，発信までのスケジュール管理を改善していく必要がある。
- 今年度も，教育センター研究成果を佐賀大学教員養成課程の講義等で有効活用することについての機会がなかった。教員養成課程の学生にとっても参考となる資料などが数多くあるので，有効活用を図っていただくとよいと思う。

## 3 今後の予定等

- 今年度は6つの研究委員会で効果的な連携を図ることができた。次年度も，佐賀大学教員の専門的な見地からの助言を受け，佐賀県教育センターが取り組む研究の質の向上に努めていきたいと考えている。是非，本連携事業を継続してほしいと考えている。